

プロジェクト「ICT活用授業の普及活動」活動報告

第1回ランチョンセミナーを開催しました

日時：2011年11月11日(金) 12：20～13：30

教育開発支援センターでは、「ICT活用授業の普及活動」プロジェクトの一環として、授業におけるICT活用によるアクティブ・ラーニングの促進に向けて11月よりランチョンセミナーを始めました。ここでは、11月11日に行われた第1回目のランチョンセミナー「クリッカーの活用について」のご報告をいたします。第1回目でも周知も至らない状況ではありましたが、16名の教職員がご参加くださいました。まず、クリッカーのデモンストレーションを行いました。併せて、本学の活用実績や活用事例の紹介及び利用にあたって必要な準備や手続きに関して説明しました。専任教員に加え、非常勤講師の先生方にもご参加頂き、クリッカーの活用に関して質問や意見交換が行われました。

今後は毎月第1金曜日のお昼休みの時間に実施する予定です。本年度は多人数授業でのアクティブ・ラーニング及び教員・受講生間のインタラクティブ性の促進支援をテーマに、「多人数講義シリーズ」で開催していく予定です。カジュアルな雰囲気の中で昼食をとりながら、授業支援用ICT機器について知っていただき、幅広く活用していただくことを目指しています。



ランチョンセミナーの様子

ランチョンセミナー 「多人数講義シリーズ」

- ・第1回：授業内で受講生の興味や理解度を把握するには？：「クリッカー」を用いて
11月11日(金)
- ・第2回：学生の提出物を円滑に管理するには？
12月2日(金)
- ・第3回：受講生に授業時間外にも意見交換させるには？
1月6日(金) 12：30～13：30
第2学舎1号館1階共通会議室3(予定)

以下、第1回目のランチョンセミナーでご紹介した「クリッカー」について報告いたします。

アクティブ・ラーニングの実践例： 「クリッカー」を使って

本学には授業の円滑性や効率性を高めるため、ICTを活用したさまざまな取り組みが準備されています。今回よりシリーズで学内に準備されているICTを活用した授業支援ツールについて紹介していきます。

多人数の授業では得てして教員からの一方通行の講義になりがちですが、近頃の学生は集中力が継続しなくて、ついつい私語が多くなったり、寝てしまったりしている受講生の行動が気になるようなことはありませんか。

ここでは、多人数の授業でも受講生との双方向のコミュニケーションを取りながらその場で学習内容についての興味や理解度を確認しながら授業を展開できる仕組み、「クリッカー」についてご紹介します。



図1：クリッカーのレスポンス・カード



図2：クリッカーのレシーバー

「クリッカー」は受講生一人一人に予め配付したレスポンス・カードと教員のパソコンにUSB接続されたレシーバーからなる簡単な通信機器です。パソコンのスクリーンに受講生に対する問いかけを表示し、受講生はレスポンス・カードのボタンで反応を返してきます。受講生全員が回答し終わると集計結果がグラフでスクリーンに投影され、クラスにいる全員で共有することができます。授業の進行に合わせ、節目節目で教員と受講生が情報のキャッチボールをすることで、受講生の反応を確認しながら授業展開をすることが可能になります。

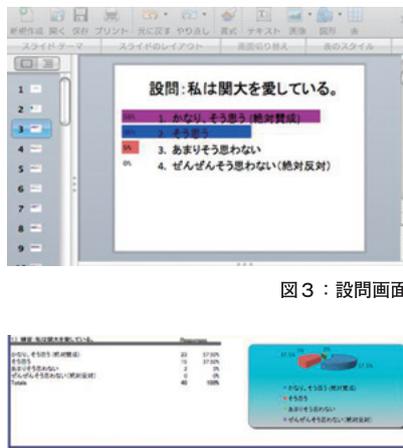


図3：設問画面

図4：集計結果画面

「クリッカー」は教員のみが授業で活用するだけではなく、受講生のプレゼンテーションの中で視聴者の反応を瞬時に可視化したりすることもできます。つまり、「クリッカー」を利用することで、受講生参加型の授業形態が達成できます。

また、「クリッカー」を利用して集計した情報はエクセル形式のレポートとして保存することができます。授業の記録として受講生と共有することが出来ますし、ふりかえりの資料としても利用することもできます。

「クリッカー」を授業でぜひ利用してみたいとお考えの方は、教育推進部、授業支援ステーションまでご連絡ください。使用方法の説明から授業内での運用までスタッフによる懇切丁寧な支援をいたします。
(教育推進部 三浦真琴・山本敏幸・岩崎千晶)



図5：受講生によるクリッカーを使ったプレゼンの様子